

早期景気観測調査

【2-3月期調査結果報告書】

令和6年4月

 甲府商工会議所

◆調査要領

1. 調査の目的 : 山梨県内で最も速報性の高い『街角の景況感』を把握する調査として中小企業の明日の経営活動に資する。
2. 調査実施機関 : 甲府商工会議所
3. 調査実施時期 : 令和6年3月15日(金)～3月29日(金)
4. 調査対象 : 当所会員 131 事業所
5. 調査方法 : ファクシミリによるアンケート方式
6. 有効回答数 : 79 件
7. 有効回答率 : 60.3 %
8. 特記事項 : 原則、小数点以下第二位で四捨五入

◆結果概要

【2-3月期の動き】

**全体業況は ▲ 2.5 と2期振りの改善。
仕入単価は2期連続の悪化。
向こう3ヶ月の業況は 1.3 と改善する見通し。**

2-3月期の全業種総合の業況DIは、▲2.5（前期比0.1ポイント増）と、2期振りの改善となった。仕入単価DIは▲79.7（前期比2.8ポイント減）と、2期連続の悪化となり、利益確保を懸念する事業所が多数。また、コメントにて人手不足に悩む事業所も増加している。向こう3ヶ月の先行き業況は1.3と改善する見通し。

業種別は以下の通り。

●製造業：業況DI 改善 (20.0 : 前期比 5.7 ポイントの増加)

改善： 売上DI 従業員DI 悪化： 採算DI 仕入単価DI

不变： 金融貸出しDI

向こう3ヶ月の先行き業況は、 0.0 と悪化する見通し。

●建設業：業況DI 改善 (0.0 : 前期比 6.7 ポイントの増加)

改善： 売上DI 採算DI 悪化： 金融貸出しDI

不变： 仕入単価DI 従業員DI

向こう3ヶ月の先行き業況は、 ▲ 6.7 と悪化する見通し。

●卸売業：業況DI 悪化 (▲31.3 : 前期比 7.8 ポイントの減少)

改善： なし 悪化： 売上DI 採算DI 仕入単価DI 従業員DI

不变： 金融貸出しDI

向こう3ヶ月の先行き業況は、 ▲ 31.3 と不变の見通し。

●小売業：業況DI 悪化 (▲11.1 : 前期比 27.8 ポイントの減少)

改善： 仕入単価DI 悪化： 売上DI 採算DI 従業員DI

不变： 金融貸出しDI

向こう3ヶ月の先行き業況は、 22.2 と改善する見通し。

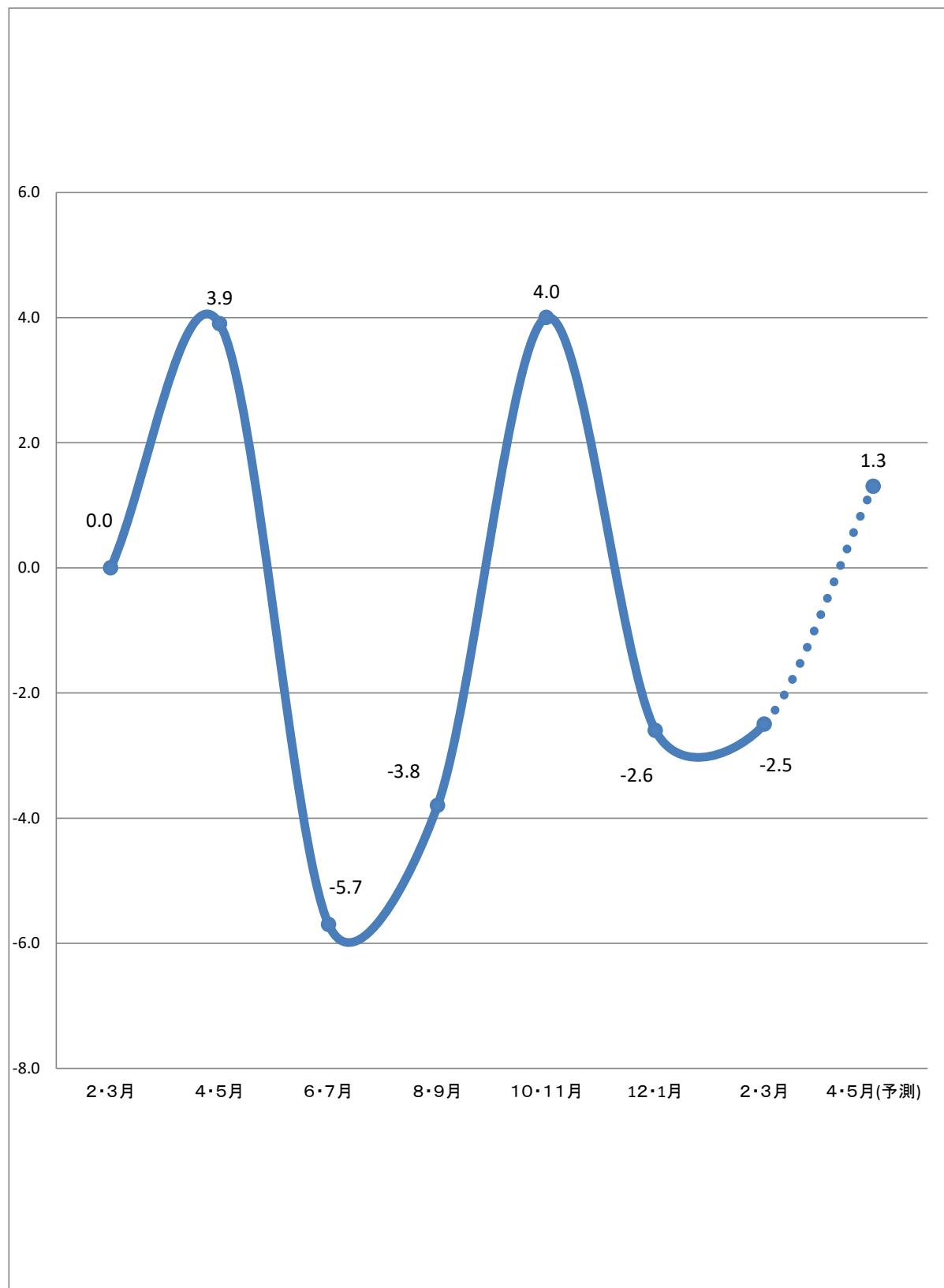
●サービス業：業況DI 改善 (10.0 : 前期比 25.4 ポイントの増加)

改善： 採算DI 仕入単価DI 従業員DI 悪化： 売上DI

不变： 金融貸出しDI

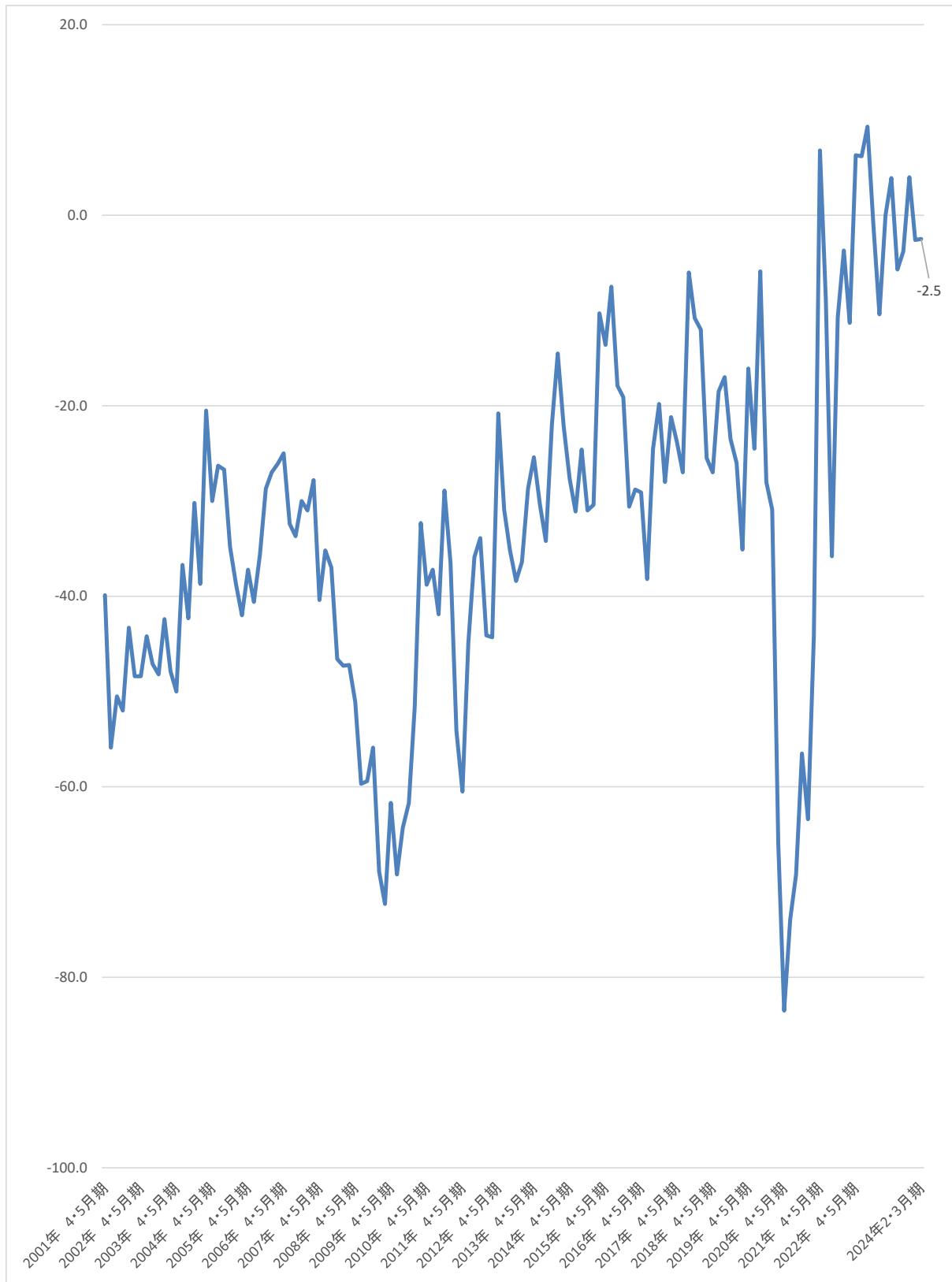
向こう3ヶ月の先行き業況は、 30.0 と改善する見通し。

業況DIの推移



業況DIの推移

(2001年4・5月期～2023年12・2024年1月期)

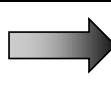


◆全業種・業種別詳細

※ D I 値（景況判断指数）について

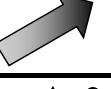
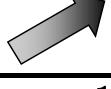
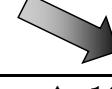
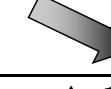
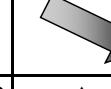
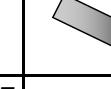
D I 値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

◆指標の見方

前回D I に比べて (先行は今回実績値に比べて)		
改善	不変	悪化
		
D I 値	D I 値	D I 値

※仕入単価D I は、仕入単価が下落した場合、「↗」（改善）と表示しております。
従業員D I は、従業員が不足している場合、「↗」（改善）と表示しております。

◆全業種総合

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲ 2.5	1.3	▲ 10.1	▲ 15.2	▲ 79.7	31.6	▲ 1.3

全業種総合の業況DIは、 **▲ 2.5** (前期比 **0.1** ポイントの増加)となった。

●項目別(前期比)

売上DI:悪化 (1.3 → ▲ 10.1) 従業員DI:悪化 (32.1 → 31.6)

採算DI:悪化 (▲ 14.1 → ▲ 15.2) 金融貸出しDI:悪化 (0.0 → ▲ 1.3)

仕入単価DI:悪化 (▲ 76.9 → ▲ 79.7)

向こう3ヶ月の先行き業況は、 **1.3** と改善する見通し。

◆業種別

○製造業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
20.0	0.0	15.0	0.0	▲ 80.0	10.0	0.0

製造業の業況DIは、 **20.0** (前期比 **5.7** ポイントの増加)となった。

●項目別(前期比)

売上DI:改善 (**14.3** → **15.0**) 従業員DI:改善 (**4.8** → **10.0**)
 採算DI:悪化 (**9.5** → **0.0**) 金融貸出しDI:不变 (**0.0** → **0.0**)
 仕入単価DI:悪化 (**▲ 66.7** → **▲ 80.0**)

向こう3ヶ月の先行き業況は、 **0.0** と悪化する見通し。

○建設業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
0.0	▲ 6.7	▲ 6.7	▲ 33.3	▲ 73.3	60.0	▲ 6.7

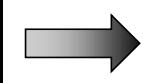
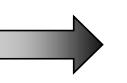
建設業の業況DIは、 **0.0** (前期比 **6.7** ポイントの増加)となった。

●項目別(前期比)

売上DI:改善 (**▲ 13.3** → **▲ 6.7**) 従業員DI:不变 (**60.0** → **60.0**)
 採算DI:改善 (**▲ 40.0** → **▲ 33.3**) 金融貸出しDI:悪化 (**0.0** → **▲ 6.7**)
 仕入単価DI:不变 (**▲ 73.3** → **▲ 73.3**)

向こう3ヶ月の先行き業況は、 **▲ 6.7** と悪化する見通し。

○卸売業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲ 31.3	▲ 31.3	▲ 31.3	▲ 31.3	▲ 75.0	31.3	0.0

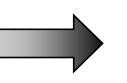
卸売業の業況DIは、 **▲ 31.3** (前期比 **7.8** ポイントの減少)となった。

●項目別(前期比)

売上DI:悪化 (**▲ 5.9** → **▲ 31.3**) 従業員DI:悪化 (**41.2** → **31.3**)
 採算DI:悪化 (**▲ 23.5** → **▲ 31.3**) 金融貸出しDI:不变 (**0.0** → **0.0**)
 仕入単価DI:悪化 (**▲ 70.6** → **▲ 75.0**)

向こう3ヶ月の先行き業況は、 **▲ 31.3** と不变の見通し。

○小売業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲ 11.1	22.2	▲ 22.2	▲ 22.2	▲ 83.3	22.2	0.0

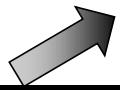
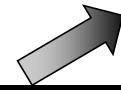
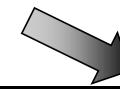
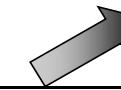
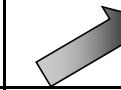
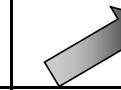
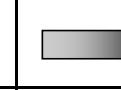
小売業の業況DIは、 **▲ 11.1** (前期比 **27.8** ポイントの減少)となった。

●項目別(前期比)

売上DI:悪化 (**16.7** → **▲ 22.2**) 従業員DI:悪化 (**33.3** → **22.2**)
 採算DI:悪化 (**8.3** → **▲ 22.2**) 金融貸出しDI:不变 (**0.0** → **0.0**)
 仕入単価DI:改善 (**▲ 91.7** → **▲ 83.3**)

向こう3ヶ月の先行き業況は、 **22.2** と改善する見通し。

○サービス業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
10.0	30.0	▲ 10.0	20.0	▲ 90.0	50.0	0.0

サービス業の業況DIは、 10.0 (前期比 25.4 ポイントの増加)となった。

●項目別(前期比)

売上DI:悪化 (▲ 7.7 → ▲ 10.0) 従業員DI:改善 (30.8 → 50.0)

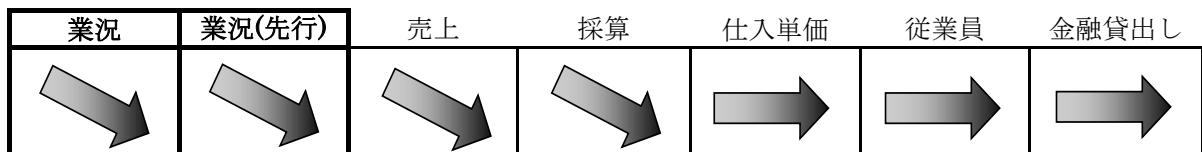
採算DI:改善 (▲ 30.8 → 20.0) 金融貸出しDI:不变 (0.0 → 0.0)

仕入単価DI:改善 (▲ 92.3 → ▲ 90.0)

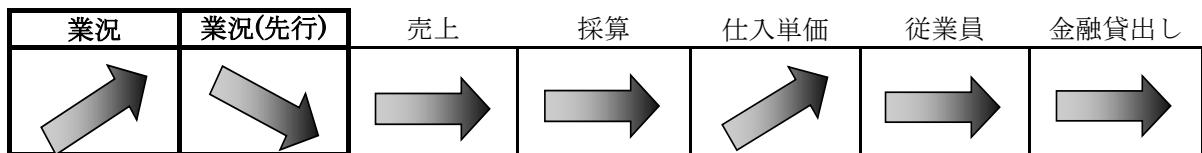
向こう3ヶ月の先行き業況は、 30.0 と改善する見通し。

◆業種別詳細

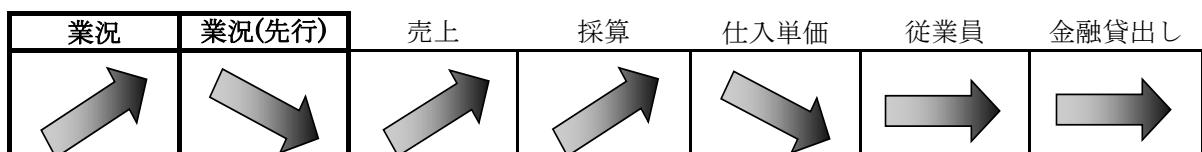
○製造業(食品)



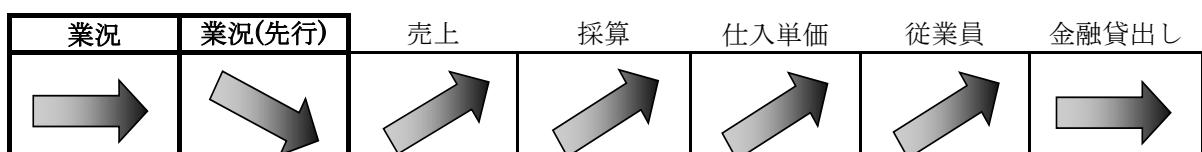
○製造業(工業製品)



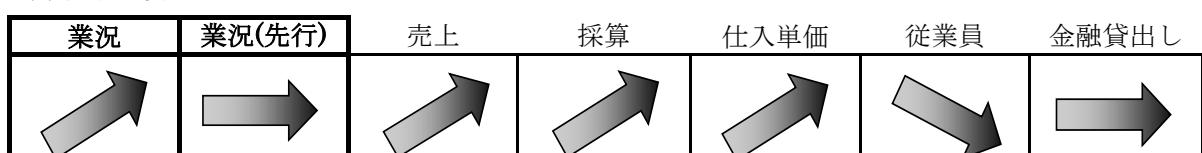
○製造業(宝飾)



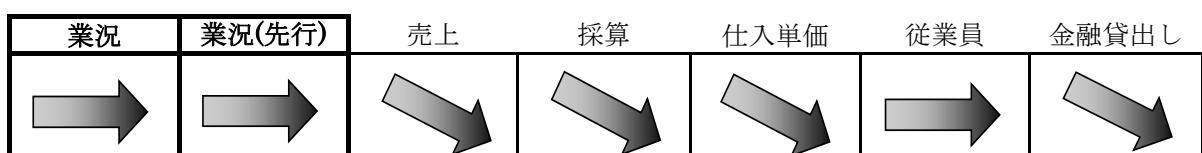
○建設業(建築)



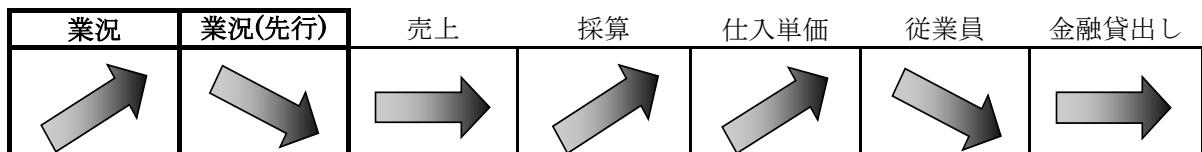
○建設業(土木)



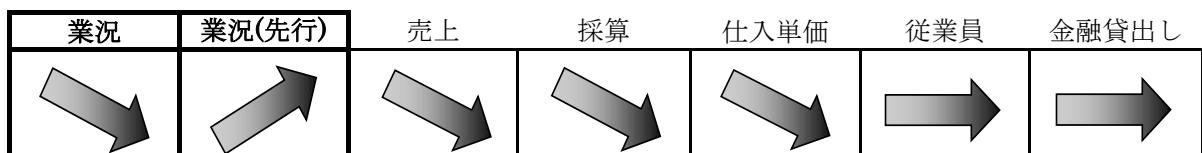
○建設業(鉄鋼)



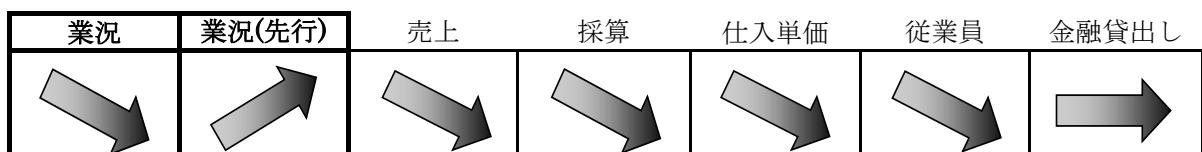
○卸売業(食品)



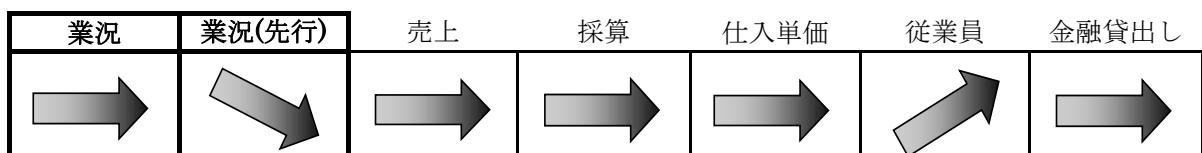
○卸売業(繊維)



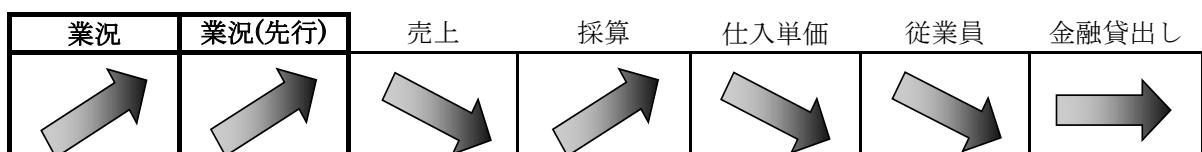
○卸売業(その他)



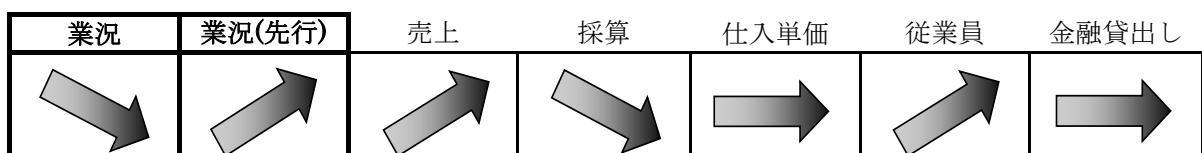
○小売業(大型店)



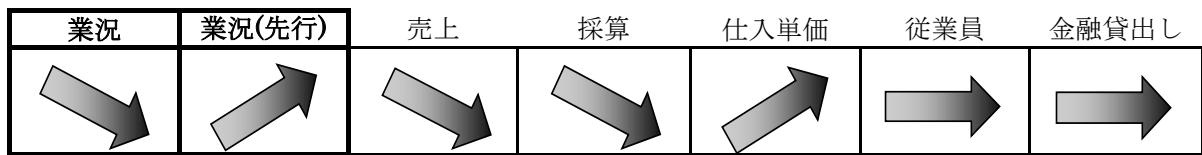
○小売業(食品)



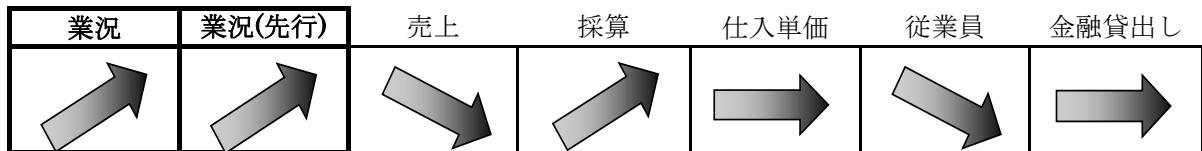
○小売業(事務用品)



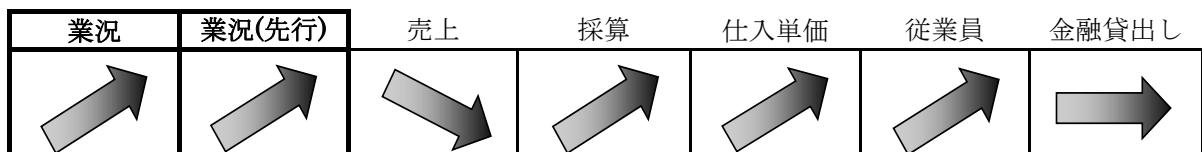
○小売業(趣味・日用品)



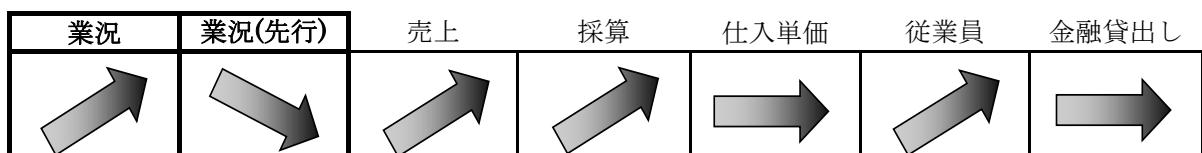
○サービス業(ホテル・旅館)



○サービス業(観光)



○サービス業(飲食その他)



◆中小企業の声(現状や直面している課題 等)

【製造業】

製造業(食品)

- ・観光関連(ホテル・土産品)などの催事イベントも増え、業況は上向き。加えて通販関連の新規引合いも入り、売上好調。
- 一方で、運賃等の物価関連は3月より一斉値上げ。相変わらず円安で輸入原材料は高騰の一途であり、採算面が不安。

製造業(工業)

- ・国内、輸出ともに販売は堅調。仕入単価は引き続き上昇しているが、製品値上げや円安効果でカバーしている。

製造業(宝飾)

- ・世界的な物価上昇と円安の影響で仕入単価は上昇しているものの、未だコロナの影響で旅行関連の出費が嗜好品に使われている印象。
- ・OEMの受注が増加しており、売上も増加。

【建設業】

建設業(建築)

- ・人手不足が深刻化。アフターコロナから業務規模が大きくなっている、現場運営に苦労している。

建設業(土木)

- ・人材確保が安定せず、職人不足、監督不足の影響で受注が困難。

【卸売業】

卸売業(その他)

- ・仕入単価が上昇するも販売価格に転嫁できず、粗利の減少が顕著。人材確保の規模しさも増しており、今後の営業活動が懸念される。
- ・業種や事業所ごとによる格差が大きくなっている印象。

【小売業】

小売業(趣味)

- ・町の人流回復が全く見込めない状況。

【サービス業】

サービス業(観光)

- ・コロナ5類移行後の観光人流も落ち着いてきたと感じる。国内情勢によるインバウンドの減少や自然災害等も懸念され、楽観視はできないと予測。
- ・働き方改革による人件費増加と人材確保の費用が増えており、売上は増加ながら依然厳しい状況。

サービス業(その他)

- ・昨年に比べて売上は増加しているが、採算面で減少。